

8月は会員増強・拡大月間です
THE WEEKLY REPORT

RI 第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 テーマ

見つめなおそう ローターの心
つくろう 新たな未来を

2010-2011 年度 RI会長
レイ・クリンギンスミス

次回例会予定 9月1日会長・幹事会報告 他
9月8日

VOL. 48 No. 7 (通算No. 2248)

2010年8月25日(水)例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸 報 告
幹事報告
会長挨拶
派遣学生帰国挨拶 他



「八郷の風景」

写真提供:石塚利明会員

2010-2011年度 会長 白井 豊 幹事 大塚 令昌

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

8月は会員増強・拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.48 No.6 (No.2247) 8月18日(水)晴れ (司会 北村陽太郎委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆外部卓話 女子プロボウラー 並木恵美子様

ビジター

女子プロボウラー 並木恵美子様

諸報告

新世代奉仕委員会 石塚克己委員長

10月8日～10日、ライラセミナーが開催されます。来週ご案内書を配布致します。会員皆様の事業所の方、ロータリアンの方参加の程宜しくお願い致します。

国際奉仕委員会 倉持功典委員長

昨日の17日にツウンバより3名の学生が無事帰国しました。次週の例会において帰国報告をさせていただきます。会員皆様のご協力ありがとうございました。

幹事報告 大塚令昌幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 竜ヶ崎RC 8月31日(火) 午後6時30分より 松泉閣 クラブ協議会の為
9月14日(火) き仙 ガバナー公式訪問の為
牛久RC 8月30日(月) 午後7時より クラブ協議会の為

会長挨拶 白井 豊会長

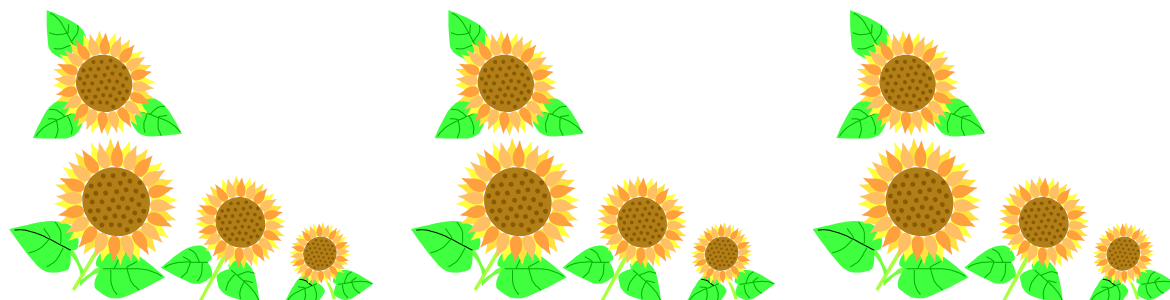


皆さん、こんにちは。本日、卓話をいただきます「並木恵美子さん」ようこそいらっしゃいました。並木プロと言えば昭和 40 年代から、須田・中山両プロと共に女子プロ 3 羽鳥として現在迄活躍されておりますことは皆さんもよく御存知の事と思います。会員一同歓迎申し上げます。

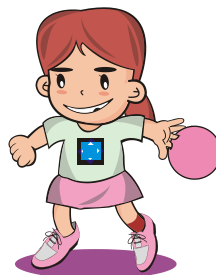
前回の公式訪問例会は、会員の皆様の多大なご協力により、無事に終了することが出来ました。皆様に感謝申し上げます。

昨日、ツウンバより交換学生の 3 人が元気に帰って参りました。今回の留学では倉持功典委員長の下、国際奉仕委員会のメンバーの方々には、大変お骨折りを頂き感謝申し上げます。来週の例会で 3 人の体験談等の帰国報告をして頂く予定になっております。

さて、月遅れのお盆も終わり、本来なら秋風が立ち始める訳ですが、今年は相も変わらず猛暑が続いております。水分と睡眠を充分に取り、この暑さを乗り切ってください。以上挨拶を終わります。



外部卓話



体育部講演会より（平成21年10月11日）
「夢をかたちに……今出来る事」

女子プロボウラー 並木恵美子



昭和24年東京杉並区荻窪出身で、生家は現在も営む酒屋の二人姉妹の次女として生を受けました。姉は、優等生で良妻賢母型の両親好みでしたが、私は正反対の体育会系の運動会大好き人間で、「右を向けと言われれば、左を向く」タイプでした。今日は、卓球が大好きだった私が20歳で最年少の女子プロボウラーとなった経緯をお話したいと思います。

昭和40年始めボウリングが全盛となり、プロ化の動きが徐々に活発となって来ました。昭和42年に男子のチャータープロ化が始まり、女子にも、このことで昭和44年に女子プロ第1期生を募集することになりました。昭和43年当時の私は、杉並区役所の南向いにあたる阿佐ヶ谷ボウルではじめてばかりで、最初のスコアは86点、1ゲーム250円とおぼえています。ゲームにのめりこんで六ヶ月位たった頃、ボウリング場のF・E・セマナコーチに女子プロのテストを受けるように勧められたことになりました。

昭和44年6月にテストが実施され、後楽園で2日、五反田で2日間のテストが行われました。テストは1日9ゲーム、合格の点数はアベレージ180でした。初日の成績は200点以上で、一時はトップとなりましたが、なんとか好成績で四日間を終了しました。1位は当時から有名だった須田開代子さん、2位は同じく中山律子さん、三位石井さんが、四位海野さんに続き五位に私が入り、全部で13名の女子プロが誕生いたしました。

昭和45年4月、プロトーナメント公式戦が月例として開始されました。◎第一回女子月例では、上野池之端ドリームレインで須田開代子さんを決勝戦で破り優勝◎第二回女子月例は須田さんと中山さんが欠席のなか深川Aボウルで二連勝◎第三回は須田さんと中山さんが渡米で欠席のなか志村スターレインで二連勝◎第四回は二人場国後東京ファシリティーレインで須田さんと二騎打ちで四連勝◎第五回はマスコミ注目のもと府中スターレインでの公式戦でしたが、残念ながら予選で敗退しました。この時の優勝は中山律子さんでしたが、初の300点満点のゲームで、

女子プロとなった私は、とにかく足腰や技術を鍛えるための「トレーニング」法を前述のコーチに相談したところ、知人の野球関係者から湯河原の海岸とゴルフ場を紹介され早速トレーニングを開始しました。当時同じ地域で練習していたのがボクシングフライ級世界チャンピオンの大場正夫さんで、その過激なトレーニングを目のあたりにし、プロの厳しさを感じました。

テレビにも中継され爆発的なボウリングブームのきっかけになりました。◎以上私の四連勝の経緯を述べましたが、第五回の中山律子さんの300点のパーフェクトは男子も含め稀有な例で、既におじくになりなりました須田開代子さんでも生涯達成することは出来ない点数でした。しかし私の場合は幸運にも、昭和47年22歳の時、サントリー杯トーナメントの決勝戦にて日本テレビの中継時にパーフェクトを達成することが出来ました。当時の貴重な記録をしたときのDVDがありますので皆様からんぐんぐん上巻。◎なお、最近この達成が困難なパーフェクトを静岡で84歳の方や今話題の9歳の両手投げ飯島君が達成していることを付け加えておきます。

ボウリングは高齢者も楽しめ、健康にも遊ぶにも最適なスポーツであり、プレー人口は2,500万人とナンパーワンを誇っております。ボウリング3ゲームで30分の全身運動、フランスの良いスポーツです。現役女子プロ40年を過ごしてきて、この素晴らしいボウリングを広めることが私のライフワークだと感じています。

並木 恵美子氏 社団法人日本プロボウリング協会女子プロボウラー一階生 ライセンスN05、永久シードプロ

8月は会員増強・拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

出席報告 (古谷榮一委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
57名	43名	14名	0名	14名	100.00%

ニコニコボックス 北村英明委員長

入金計 ¥31,000 累計 ¥524,000

並木プロ、卓話宜しく願います。 白井・田上 各会員

ようこそ並木プロ、宜しく願ひ致します。 大塚会員

公式訪問ご苦労様でした。並木プロようこそ、卓話楽しみにしています。毎日新聞茨城アマ予選、2位通過しました。竜ヶ崎C・C 斎藤会員

並木プロ、本日ありがとうございます。 山牟田会員

ツウンバ交換学生無事帰国しました。みなさんからのアドバイスありがとうございました。昨夜はぐっすり眠りました。 倉持会員

暑くて大変です。 横山会員

残暑厳しいですが、元気ががんばりましょう。 古矢会員

無事出席できました。 中川会員

早退します。 鈴木(茂)会員

来週お休みいただきます。 五木田(益)会員

例会遅刻しました。 草間会員

娘、紗和子他2名の交換留学生、昨夜無事 TOOWOOMBA より帰国しました。会長・幹事・国際奉仕委員長、見送り、お迎えとお世話になりました。 北村(英)会員

会報委員会 秋田政夫委員長 石塚利明副委員長 穂戸田好範委員 石塚幸一郎委員

ツウンバより帰国

平成22年8月17日(火)

先日TOOWOOMBA ロータリークラブから送られてきた資料とその翻訳文です。

Patrick Murrayさんは交換留学事業を開始した当初から担当されている、この事業を最も理解されているRotarianの一人です。

この文章は、TOOWOOMBA RCの例会で卓話として紹介された物です。

歴史的に古い内容も含まれますが、この事業の成り立ちや実績を分かり易く説明されていますので、一読下さいませ。
(翻訳責任:北村 英明)

MITSUKAIDO TOOWOOMBA ROTARY CLUB SHORT EXCHANGE PROGRAM

This program began in 1986. It followed Chiharu Iitsuka's 1981 12 month inbound exchange in Toowoomba, which was so successful that close contact was maintained between our two clubs and in 1984 the Mitsukaido President, the enthusiastic Mr Somiya and his charming wife, visited Toowoomba. He suggested the short student exchange which we then arranged.

On 16th August 1986 Akko Kitamura, one of the two students from Mitsukaido, arrived in our home. 24 years later, yesterday, her daughter, Saweko, aged 15, arrived at Doug and Kerry Gibson's home as one of three Mitsukaido students this year.

8月は会員増強・拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

Mitsukaido is a city of about 45,000 and is a two hour drive north of Tokyo. The exchange has been for approximately ten days, in Toowoomba in August, and Mitsukaido in January, and has happened most of the years since 1986. 100 to 120 students from Mitsukaido and Toowoomba have been involved, usually aged between 13 and 17, although the Bryant twins made history when they went to Mitsukaido aged only 11! They did very well. More than 20 Rotarians and family members have also visited either Mitsukaido or Toowoomba over the years. The hospitality, fellowship, care, and organisation in Mitsukaido has been outstanding.

In the 1980s it became evident to me that one of the problems with our exchange programs was that suddenly on July 1st each year we had new and different Directors, and sometimes exchange students tended to be forgotten. It was for this reason that I offered to act as a continuing Counsellor to both long and short term exchange students, and to my surprise ended up doing this for most of the next 20 years.

Our club connection with Japan has extended outside Mitsukaido. Rotarians from our Sister club for many years, Tsuruga, on the west coast of Honshu visited us with a gift of three superb stone lanterns for the then new Japanese garden at the University. We have also had 10 long term students, 5 going to Japan and 5 coming to Toowoomba.

It was just great yesterday to see all our new students and all our host families together on arrival, and all happy and enthusiastic.

I hope that as many as possible of our club become involved in this and all future exchanges, and if so, your lives could change for ever, and for the better!

Patrick Murray

9.8.2010.

水海道 — TOOWOOMBA ロータリークラブ 短期交換留学プログラム

このプログラムは、1986年に始まりました。

1981年 飯塚千春さんが1年間の留学生とし Toowoomba に来ました。その成功をきっかけに両クラブは親しくなり、1984年 水海道 RC の熱心な会長 隅谷氏とそのチャーミングな夫人が Toowoomba を訪れました。彼は、短期留学プログラムを提案し、我々はそのことを取り決めました。

1986年8月16日 水海道 RC から北村篤子ともう1名の学生が我々のもとに到着しました。

24年前です。そして、昨日 今年度の水海道 RC の3名の交換留学生の一人として、彼女の娘 紗和子 15歳がギブソン家に到着しました。

水海道は、人口約45000人、東京から車で約2時間のところにある街です。留学生は1986年以来、約10日間、Toowoomba には8月、水海道には1月に訪問しています。現在までに、100人から120人の交換留学生が水海道と Toowoomba からこのプログラムに参加しました。通常は13歳から17歳ですが、ブライアン家の双子はたった11歳で水海道を訪問したという歴史をつくりました。彼らは、とてもよくやりました。

これまでに、20名以上のロータリアンとその家族が水海道と Toowoomba をお互いに訪問して

8月は会員増強・拡大月間です THE WEEKLY REPORT

います。水海道の親切なもてなし、親睦、気遣い、そして組織力は傑出しています。

1980年代、私たちの交換留学生プログラムに一つの問題が明らかになりました。それは、毎年7月1日に突然今までと違う理事になり、ときどき、交換留学生の事を忘れてしまうことです。それが、私が短期と長期双方の交換留学生プログラムのカウンセラーを続けることを申し出た理由でした。20年以上もこの事が続いたことは、私の驚きです。

私たちのクラブは、水海道以外のクラブとも交流しています。本州の西海岸にある敦賀は、私たちの姉妹クラブです。数年前、ロータリアンが訪れたときに、大学の新しい日本庭園に3個の見事な石の灯籠を寄贈してくれました。日本から5人、Toowoomba から5人の 全部で10人の長期交換留学生がいました。

昨日、到着にすべての我々の新しい学生とすべてのホストファミリーが集まり会えました。みな、ハッピーで熱心でした。

私は、可能な限り我々のクラブがこれと将来の交換留学生に深くかかわることを望んでいます。そうすれば、ずっと我々の生活を変えることができる。そして もっとよくなるでしょう。

2010/8/9 Patrick Murray

